

2019 年度ゼミ活動紹介

第 17 期ゼミ長 江碕 舞香

小野晃典研究会 OB・OG の皆様、初めまして、第 17 期ゼミ長の江碕舞香と申します。この度は、OB・OG 会誌を通して皆様にご挨拶できる機会を頂き、幸甚に存じます。OB・OG の皆様にご協力いただいたおかげで、本年度も非常に有意義なゼミ活動にすることができました。今後とも変わらぬご支援の程、何卒宜しく願いいたします。



さて、私からは、2019 年度のゼミ活動について、簡単にはございますが、皆様にお伝えさせていただきます。

まず初めに、各期の活動を簡単にご紹介したいと思います。3 年生にあたる第 17 期生は、基礎文献レポートや解析技法レポートを通して、マーケティングを学ぶ上で必要となる知識をインプットすると共に、ディベートやケース・メソッド、三田祭論文執筆などを通して、それらの知識をアウトプットすることに励みました。また、有志活動としてビジネスプランコンテストなどにも積極的に参加しました。さらに、役職の決定後には、先輩から仕事を教わりながら、ゼミ運営にも携わりました。4 年生にあたる第 16 期生の先輩方は、この 1 年間、卒業論文執筆だけでなく、多変量解析技法のレクチャー、各役職の引継ぎ、三田祭論文の添削など、いつも熱心にご指導してくださいました。

次に、今年度に行われた主な活動につきまして、時系列に沿って振り返りながらご紹介させていただきます。

2019 年 4 月下旬には、埼玉県秩父郡の養浩亭にて、春合宿を実施いたしました。初日は、電車で上長瀬駅まで向かい、長瀬の壮大な自然を眺めながら蕎麦やうどんを堪能しました。ホテルに到着すると、インカレディベートに向けての準備を行い、その後 BBQ で美味しいお肉をお腹いっぱい食べた後、小野先生を囲んでの懇親会が開催されました。翌日は、ラフティン



ラフティングの様子

グを楽しみました。都会のビルばかりに囲まれた生活から一変、辺り一面自然に囲まれ、のびのびとした雰囲気の中、第16期の先輩方や大学院生との親睦を深めることができました。

5月中旬には、関西大学千葉貴宏ゼミナール、立命館大学菊盛真衣ゼミナール、および東洋大学竹内亮介ゼミナールと共に、第11回目にあたるインカレディベート大会を実施いたしました。当大会に出場した第17期生は、4月から行ってきた日々のゼミ活動の成果を出せるよう、全力で本番に臨みました。しかし、結果は2戦2敗と、親身にご指導して下さった先輩方や小野先生に顔向けできない結果となってしまいました。半年以上経った今でもこの悔しさは忘れられません。悔しさを胸に来年度、後輩の勝利に貢献できるように、精一杯精進していく所存です。

9月中旬には、山梨県南都留郡の甲斐路荘にて夏合宿が行われました。第16期生は卒業論文を、第17期生は三田祭論文の執筆に真剣に取り組みました。また、夏合宿の目玉である夏ケースのテーマは、「洋服の青山」でした。お忙しい中、夜を徹して準備して下さった第16期生の努力に応えられるよう、第17期生は、初めてのケースに苦戦しながらも最後まで全力で取り組みました。

10月上旬には、関西大学にて開催された関西大学ビジネスプラン・コンペティションに、第16期生の有志2名および第17期生の有志3名が出場しました。第17期生は惜しくも入賞は逃したものの、企業賞(佳作)を獲得し、第16期生は入賞という素晴らしい結果を残しました。

11月中旬には、第17期インゼミチームが、韓国で開催された Korean Scholars of Marketing Science に参加しました。学会本編において、インゼミチームが “Hybrid of Certain and Uncertain Incentives: The Reinforcing Uncertainty Effect Revisited” という不確実性とインセンティブに関する論文を発表しました。今年度はなんと、学部生ながら Best Conference Paper Award を受賞する



高麗大学にて

という快挙を成し遂げました。初めての国際学会で緊張しましたが、一生の思い出に残るような貴重な体験となりました。

11月下旬には、四分野インゼミ研究報告会が開催されました。本報告会には、経営、会計、商業、経済・産業の4つの分野から8つのゼミが集まり、それぞれの研究成果を発表しました。小野ゼミからは、インゼミチームが出場しました。発表した研究テーマは「確定インセンティブと不確定インセンティブの複合

——不確実性の行動促進効果の再検討——」でした。本報告会のために日本語版の発表資料を作り上げ、インゼミチーム最後の活動を締めくくるにふさわしい、自信に満ち溢れたプレゼンを披露することができました。

今年度も、こうして実りのあるゼミ活動ができましたのは、OB・OGの皆様のおかげがあったからこそだと思います。そこで、この場をお借



四分野インゼミ研究報告会にて

りして、今年度お世話になったOB・OGの皆様をご紹介させていただくと共に、感謝の言葉を述べさせていただきます。

4月12日に開催された、2019年度初の本ゼミに、白木俊介先輩（第1期）ならびに梶山啓介先輩（第2期）がご参加くださり、ご講演してくださいました。また、その後に行われた懇親会に、梶田伸吾先輩（第12期）がご参加くださいました。ありがとうございました。

5月18日に開催されたインカレディベートに、千葉貴宏先輩（第5期）、菊盛真衣先輩（第7期）ならびに竹内亮介先輩（第9期）が、ご自身が持たれているゼミの指導教授として参加されました。ありがとうございました。

11月21日～24日の三田祭期間には、横山嵩先輩（第3期）、千葉貴宏先輩（第5期）、羽佐田智也先輩（第12期）、佐野諒平先輩（第12期）、川村澄明先輩（第13期）、ならびに清水亮輔先輩（第13期）が来訪くださいました。差し入れも頂き、ありがとうございました。また、三田祭最終日に行われた懇親会に、千葉貴宏先輩（第5期）、川村澄明先輩（第13期）、西森泰斗先輩（第13期）、清水亮輔先輩（第13期）ならびに山本彩理先輩（第13期）がご参加くださいました。ありがとうございました。

OB・OGの皆様、今年度も、お忙しいところ、貴重なお時間を割いて小野ゼミの活動にご参加くださり、誠にありがとうございました。私は今年1年間を通じて、OB・OGの皆さまが築き上げてくださった伝統や実績の偉大さを痛感いたしました。振り返ると、憧れの小野ゼミ生として活動できる喜びを日々噛み締めていた一方で、自分の至らなさを痛感する日々でもありました。小野先生をはじめ、先輩方やOB・OGの皆さまに支えていただきながら、同期と数々の困難を乗り越えて参りました。来年度は、新たに加わる第18期生とともに、小野ゼミの再出発となるような年にすべく、ゼミ長として学生生活最後の1年間を捧げてゼミ活動に取り組んでいく所存です。最後になりましたが、OB・OGの皆さま、今後ともご指導ご鞭撻の程何卒宜しく願いいたします。